

## 第 7 7 回岐阜大学経営協議会 議事要旨

- 1 日 時 平成 2 8 年 6 月 7 日（火） 1 3 時 0 0 分～ 1 5 時 1 5 分
- 2 場 所 岐阜大学本部大会議室
- 3 出席者 森脇（議長）、伊藤、稲垣、碓井、岡本、上手、佐々木、村瀬、山内、江馬、福士、鈴木、横山、小倉、林、王の各委員  
オブザーバー：  
池谷教育学部長、和佐田地域科学部長、湊口医学系研究科長、  
野々村工学部長、福井応用生物科学部長、吉田監事、片桐監事

開会に先立ち、議長から、佐々木委員が、平成 2 8 年春の叙勲において、瑞宝重光章を受章された旨の報告、及びお祝いの言葉が述べられた後、佐々木委員から挨拶があった。次いで、名簿に基づき新任委員の紹介があり、当該者から挨拶があった。

### 4 議事要旨の確認について

第 7 6 回の経営協議会議事要旨（案）を原案どおり確認した。

### 5 審議事項

#### （1）平成 2 7 年度及び第 2 期中期目標期間の業務実績に関する評価関連資料について

園邊総合企画部長から、資料 1 に基づき、国立大学法人評価委員会に提出する「平成 2 7 事業年度に係る業務の実績及び第 2 期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書（案）」について、教育研究等の質の向上の状況、業務運営・財務内容等の状況、今後の国立大学の機能強化に向けての考え方を踏まえた取組状況、業務運営の改善及び効率化に関する目標のうちから、特に第 2 期中期目標期間の平均値として自己評価を「IV」と判定した項目について説明があった。次いで、大学改革支援・学位授与機構へ提出する「中期目標の達成状況報告書（案）」、「学部・研究科等の現況調査表（教育）」、「学部・研究科等の現況調査表（研究）」の記載事項について説明があり、審議の結果、了承され、6 月 2 3 日（木）開催の役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。（○：質問・意見 ●：回答）

○ 「平成 2 7 事業年度に係る業務の実績及び第 2 期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書（案）」の記載事項について、FD・SDに関する取組を記載してはどうか。

● 教育活動の質の向上の状況として、対応を検討したい。

#### （2）教職大学院認証評価について

園邊総合企画部長から、資料 2 に基づき、教員養成評価機構へ提出する「教職大学院認証評価自己評価書（案）」について、評価制度の仕組み、記載事項及び自己評価のうち「B」と判定した項目の説明があり、審議の結果、了承され、6 月 2 3 日（木）開催の役員会に附議することとされた。

(3) 平成27事業年度財務諸表(案)等について

横山委員から、資料3に基づき、文部科学省等に提出する平成27事業年度財務諸表(案)について、貸借対照表及び損益計算書の概要、決算報告書の概要の説明があり、審議の結果、了承され、6月7日(木)開催の役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

○ 決算報告において、医学部附属病院の収益が大学運営に大きく貢献していると思われるが、収益が増えた理由を教えてください。また、これまで運営費交付金が毎年1%削減されてきたが、今後の傾向について教えてください。

● 医学部附属病院の収益が増えた理由としては、病床の運用を効率的に行った結果、入院患者数が5%以上増えたことによるものと思われる。また、運営費交付金の削減については、平成28年度から取り扱いが変わり、本学の場合、機能強化の方向性に応じた重点支援の基準減額0.8%に人件費比率0.4%を加味し、合計1.2%の減額となった。

(4) 平成29年度概算要求(案)について

横山委員から、資料4に基づき、岐阜大学の将来ビジョンを踏まえ、教育、研究、社会貢献、国際化、大学病院の5つの戦略をもとに、概算要求を行う旨の説明があった。次いで、施設整備費概算要求事項(案)について説明があり、審議の結果、了承され、6月7日(木)開催の役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

○ 施設整備費概算要求事項について、建築費が高騰しているが、国からの予算配分はどの程度見込んでもらえるのか。

● 国の予算枠は限られているため、配分される予算は厳しい状況であると思われる。

○ 岐阜大学の建物の耐震化はどの程度進んでいるのか。

● 建物の基本的な整備は終了している。建物内の棚、ロッカー等の転倒防止対策は、自助努力により取り組んでいる。

## 6 報告事項

(1) 大学改革に向けた取組状況について

園邊総合企画部長から、資料5に基づき、大学改革に向けた取組状況について、公募事業への応募状況として、大学教育再生加速プログラム「高大接続改革推進事業」、大学の世界展開力強化事業(タイプB:A S E A N地域における大学間交流の推進)、卓越研究員事業へ応募した旨の報告、及び各公募事業の概要について説明があった。次いで、国立大学改革強化推進補助金(特定支援型「優れた若手研究者の採用拡大支援」)に応募する予定である旨の説明があった。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

○ 高大接続改革推進事業の取組について、学生を地元で就職するような仕組みを構築できないか。

- 岐阜県が主導となって、産学金官で協力し、学生に地元企業の魅力を認識させる事業を検討している。また、COCプラス事業の採択に伴い、平成28年度から、次世代地域リーダー育成プログラムを基盤として、地元企業へのインターンシップを核とした取組を実施している。
- 大学の世界展開力強化事業の取組について、岐阜大学固有の取組を行い、差別化を図ってはどうか。
- 昨年度インド工科大学グワハティ校と大学間学術交流協定を締結し、教員・学生の派遣・受入を行うなど、活発な交流を行っており、同校と平成31年度にジョイントディグリー制度の導入を目指している。

(2) 平成28年度岐阜大学入学者選抜結果について

江馬委員から、資料6に基づき、平成28年度岐阜大学入学者選抜結果について、学部・大学院の入学者数、出身高校等の所在地別入学状況割合等について報告があった。

(3) 平成27年度卒業・修了者の就職状況等について

江馬委員から、資料7に基づき、平成27年度卒業生及び修了者の求人・求職・就職状況について、就職者数、県内就職率等について報告があった。

(4) 科学研究費の内定状況について

福士委員から、資料8に基づき、平成28年度科学研究費助成事業の内定状況について報告があった。次いで、平成27年度の新規採択及び継続分の採択件数等について、国立大学における本学の順位の報告があった。

(5) 岐阜大学COC事業及びCOC+事業の進捗状況について

福士委員から、資料9及び当日配付資料に基づき、COC事業及びCOCプラス事業に係る平成27年度実績について、実施体制を強化したこと、次世代地域リーダー育成プログラム、地域志向学プロジェクト、フューチャーセンターの各取組及び今後の展望等について報告があった。

(6) 科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」平成27年度事業報告書等について

林委員から、資料10（机上配付）に基づき、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」に係る平成27年度事業報告書、地域循環型女性研究者育成・支援プログラムのリーフレット、女性研究者ロールモデル集、サイエンス夢追い人育成プロジェクト活動実績集、ワーク・ライフ・バランス応援ハンドブック及び女性研究者支援のための人財バンク利用案内を作成した旨の報告があった。

(7) 科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」清流の国 輝くギフジョ 支援プロジェクトについて

林委員から、資料11に基づき、清流の国 輝くギフジョ 支援プロジェクト

について、地元企業等と連携して、女性の活躍推進に向けた取組を実施していきたい旨の説明があった。

主な意見等は次のとおり。（○：質問・意見 ●：回答）

- 大学から、ダイバーシティに関する情報を発信していただけると、企業も動きやすいことから、引き続き、情報発信をお願いしたい。

#### （８）産官学の連携状況（平成２７年度実績）について

王委員から、資料１２に基づき、産官学の連携状況について、共同研究・受託研究の受入金額及び件数上位１０分野、知的財産部門活動実績について報告があった。

主な意見等は次のとおり。（○：質問・意見 ●：回答）

- 金融機関では、大学での研究に対して投資を検討している傾向もあるため、研究費の調達方法について新しい仕組みを検討されてはどうか。
- 現在、名古屋大学を中心とした東海地区大学広域ベンチャーファンドを立ち上げて、「東海広域５大学ベンチャー起業支援」に取り組んでいる。また、共同研究については、金融機関に仲介いただくと締結に至りやすいという実績もあるため、今後検討していきたい。

#### （９）創立記念日行事（６／１）について

議長から、資料１３に基づき、６月１日（水）に実施した創立記念日行事について、実施内容の報告があった。また、平成２７年度に実施した学長と外部有識者の対談を取りまとめ、「岐大のいぶき 特別号」として発行したとの説明があった。

### ７ その他

#### （１）医学部附属病院の経営状況について

小倉委員から、資料１４に基づき、医学部附属病院の平成２７年度経営目標達成率について報告があり、損益計算書及び収支計算書について報告があった。

主な意見等は次のとおり。（○：質問・意見 ●：回答）

- 医療保険改革法案の成立に伴い、紹介状がない患者が負担する金額が増額されるため、患者数の減少等の予測はどう考えているのか。
- 大学病院においては、現在、８０％程が紹介患者であるため、患者数の減少はないだろうと思われる。そのため、地域のクリニック等との連携が益々重要であると考えている。
- 駐車場の渋滞対策として、職員駐車場を患者専用に開放したとのことだが、その効果について教えてほしい。
- 平成２８年度から、職員駐車スペース１００台程度を患者専用として転用している。その効果については、今後検証していきたい。

### ８ 次回の開催日

次回の開催は１０月を予定している旨の説明があった。